

伊万里市プログラミング教育の推進に関する基本方針（案）

令和2年3月2日

1. 基本方針

伊万里市では、人口減少やAI、IoTといった新たな情報技術の進展により社会環境が大きく変化していく中で、持続可能な社会を維持し築いていくためには、将来のまちづくりや産業を支える人材の確保が不可欠であることから、将来を見据えた人づくりを最優先の課題と捉えています。

このような中、小学校では、令和2年度から論理的に考える力である「プログラミング的思考」を育むためのプログラミング教育が必修化されることから、これを契機として、下記に基づくプログラミング教育等に係る施策を重点的に展開することで、魅力的で特色あるプログラミング教育を推進するまち『いまり』としての地域価値の創造を目指します。

- (1) プログラミング教育を通じて、次代を担う子ども達が高度にスマート化された近未来の社会をイメージし、将来にわたり各々が個性を生かしながら生き生きと人生を歩んでいく力を育みます。
- (2) 研究会の開催や教材開発等を行うことで、教職員のプログラミング教育能力の向上を図り、義務教育における計画的で系統的な指導を行います。
- (3) IT企業等との官民連携による質の高いプログラミング教育を、義務教育から即戦力としてのキャリア形成まで系統的に継続して実践することで、地域の産業を支えるIT活用人材の育成、確保に結びつくような好循環を生み出します。

2. 重点推進事項

① 義務教育におけるプログラミング教育の推進

教職員によるワーキンググループを組織し、計画的で系統的な指導計画や実践事例をまとめたガイドブックを作成するとともに、ガイドブックの普及、啓発はもとより、公開授業や研究会の実施、更には教材開発等を行うなど、教職員のプログラミング教育能力の向上を図ります。

② IT企業等との連携によるプログラミング教育環境の構築

本市に関わりのあるIT企業等との連携により、市内小中学生や管内高校生を対象としたプログラミング体験ワークショップやイベント等を計画的かつ継続的に実施するとともに、より高度なスキル習得を目指す人向けのプログラミング学習環境を構築します。

また、学生から社会人まで幅広い世代を対象にしたキャリア形成のためのプログラミング学習環境も併せて構築します。

3. 重点推進期間

令和2年度～4年度までの3年間

※4年目以降も持続可能となるよう、民間企業による自走化を念頭に置きながら、本市に関わりのあるIT企業等との連携を基本に事業推進を図ります。

4. 成果目標

プログラミング教育を推進するまち『いまり』としての地域価値の創造を図ることで、以下の成果を目標とします。

- ① 中高生のプログラミング専修者率（ワークショップ登録者率）の向上
- ② 高校卒業人材の地元定着率の向上
- ③ Uターン人材等のキャリア形成、確保による地域産業の活性化と企業誘致の促進